代表・一般質問　区政を

本会議の録画中継を
区議会ホームページでご覧いただけます
http://www.gikai-adachi.jp

平成23年度は、収入申告の偽装等、特に悪質な3件を詐欺事件として警察に告発した。

平成23年度の区民からの通報は8件あり、調査したが、不正は認められなかった。なお、過度の飲酒や生活態度等の苦情が39件あり、適正に指導した。また、制度批判も35件あった。

たばこ税の区財政への貢献度は

【問】区は健康増進法による公共施設の敷地内での禁煙措置を実施しているが、平成23年度たばこ税収額及び一般財源に占める割合はどのくらいか。たばこ税担税者の立場から伺う。

また、これまで区は常に歳入確保に努めると言ってきた。このことは当然たばこ税をより多く確保することも含まれていると理解するがどうか。

【政策経営】平成23年度決算では51億円余で、一般財源の3.5％を占めた。たばこ税は貴重な一般財源であり、大幅に減少した場合、影響は無視できない。

また、区内でたばこを購入していただき、たばこ税をより多く確保することも歳入確保の大切な手段と考えている。

足立区議会公明党

新たな絆の構築で、希望を持って暮らせる足立に!!

公明党　くぼた　美幸　議員

足立の「絆」づくりに向けて

【問】絆は決して目に見えるものではないが、だからこそ、行政の努力が必要と考える。改めて、区民ニーズに応え、絆づくりに向けた区長の決意を伺う。

【区長】行政が果たすべき役割は「絆」づくりのきっかけを作っていくことであり、一人ひとりが自分にあった「縁」に出会い、それを育んでいく先に生まれてくるのが「絆」と考える。

きっかけは一つではない。町会・自治会の加入率促進対策、孤立ゼロプロジェクト等の地縁強化対策はもとより、あだち皆援隊、現在展開中の様々な80周年記念イベント等も、大切な絆づくりのための仕掛けである。かつてを懐かしむばかりでなく、平成の今だからこそ紡ぐことのできる絆づくりを、あらゆる施策の根幹に意識しながら今後も推進していきたいと考えている。

平成25年度の予算編成を問う

【問】歳入・歳出の見通しを含めた、財政運営を伺う。

【政策経営】歳入は、特別区民税が年少扶養控除廃止等により一時的に増加する一方で、都区財政調整交付金の大幅な減収が見込まれる。歳出は、扶助費等の社会保障関連経費がさらに伸びる上に、老朽化施設の更新経費も増加する。このため、引き続き厳しい財政状況を念頭に、数年先を見越した財源の確保、及び事業の選択と集中による見直し等の取り組みを進めていく。

区有施設の適正運用を求める

【問】個々の施設等のライフサイクルコストを算定し、縮減額等を把握・検証すべきである。

また、予防保全に基づいた長寿命化計画を個別具体的に策定すべきだが、進捗状況はどうか。

【資産管理】平成23年末より、区有662施設のうち小・中学校等を除く421施設について、ライフサイクルコストの把握等のため、保全情報システムを運用している。総コストの縮減、計画的な保全事業の推進等に一定の効果があるものと認識している。

また、現在、同システムで管理している421施設を対象とし、長期保全計画の策定を進めている。本年度末を目途に素案を取りまとめた上で、施設管理者等からの意見を踏まえ、成案化を図っていく。

ごみの戸別収集時の見守りが地域の安心を守る

【問】単身高齢者や障がい者世帯に対し、見守りを兼ねた戸別収集のモデル事業を早期に実施すべきだが、進捗状況を伺う。

【環境】現在、予算の範囲内で戸別収集の可能性を検討しており、集積所に自らごみを排出することが困難で、近隣住民等の協力が得られない世帯を対象とした収集の年度内実施に向け、準備を進めている。

竹ノ塚駅高架化の工事環境は

【問】深夜工事における騒音・振動対策と、工事車両の交通対策について伺う。

【鉄道立体】低騒音・低振動機械を使用するほか、防音シートの設置やレールの継ぎ目を溶接する等、できる限りの対策を講じていく。交通対策としては、通学時間帯における通行の制限、交通誘導員の配置、安全な搬入路の確保等に努めていく。

いのちの尊さを伝えよ!

【問】現在、区の保健師を都立高校に派遣し、困った時の解決方法や生きるすべ、命の大切さを学ぶ「ライフスキル教育」を実施している。この事業を小・中学校においてもモデル実施すべきと思うがどうか。

【衛生】今後は、小・中学校にも保健師が出向き、ライフスキル教育がモデル的に実施できるよう、区教委と協議を進めていく。

保育所へ入りやすい環境整備を

【問】平成24年第2回定例会で、我が党の「認証保育所等助成制度を拡充すべき」との質問に対し、区は「待機児童解消に直結する制度であり検討する」と答弁した。その後の検討を伺う。

【子ども】助成額の増額は、財政状況が厳しい折ではあるが、現在、内容の具現化に向けて検討している。

1人の100歩より100人の1歩!

公明党　たきがみ　明　議員

環境学習への取り組みに期待

【問】①家庭用LED照明への購入費助成制度を実施すべき。②あだち再生館に「電力の見える化」のシステムを設置し、環境学習の拠点としてはどうか。

また、保育園等への設置も環境教育上、有効と思うがどうか。③環境に関心のある、小学校卒業後の子ども達の活動拠点として、あだち再生館を環境学習等を行う場としたらどうか。

【環境】①制度の再構築を考えており、制度設計を進めている。②環境教育の場としてあだち再生館の活用を視野に入れていく。

電力の見える化については、次のステップとして考えていく。③区内高校の生徒等の協力を求めて、中学校進学後の環境学習の支援の場として、あだち再生館の活用を考えていく。

資源化物の回収で地域力向上を

【問】町会・自治会等による集団回収が各地域で進むよう支援することも、地域づくりにつながると思うがどうか。

また、当区もプラマーク付きプラスチック類の回収を実施すべきと思うがどうか。

【環境】今後さらに、集団回収が促進されるよう、区としても支援を行い、最終的には集団回収への一本化の可能性について地域の皆様と協議していく。

また、集団回収の拡充が町会・自治会加入率の上昇等につながるものと期待している。

今後のごみ収集やプラスチックを含む資源回収については、将来に向け全体的にあり方を検討していく必要があると考える。

コミュニティビジネスの振興と幼児教育の推進を

公明党　渕上　隆　議員

障がい福祉にコミュニティビジネス（CB）の振興を

【問】CBはボランティア的・地域貢献的要素が大きい。障がいを持つ方等の就労、居場所づくりとしても推進してはどうか。

【福祉】現在、NPO法人等が、障がい児・者の居場所づくりや社会参加の支援を行っている。

また、障がい者を対象とした就労支援施設の設立を目指す動きもある。今後も、障がい者を

解説用語

＊コミュニティビジネス：人材、施設、資金等の地域資源を活用し、地域課題の解決をビジネスの手法で取り組むもの

答弁者職名略称：政策経営、総務、資産管理、区民、地域（＝地域のちから推進）、産業経済、福祉、衛生、環境、都市建設、学校教育、子ども（＝子ども家庭）…各部長